

第1回発達神経科学とニューロリハビリテーション研究会(平成28年12月3日)

9時30分～10時00分	受付
10時00分～10時20分	開会挨拶・Opening remark 信迫 悟志(畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター)
10時20分～11時00分	ケースディスカッション「脳性麻痺児の下肢に対する身体性に注目した早期治療介入」 福澤 友輝 先生(日本バプテスト病院)
11時10分～12時30分	招待講演1「コミュニケーション機能の脳内メカニズムと自閉症発症機構」 (講演70分, 質疑10分) 乾 敏郎 先生(追手門学院大学心理学部心理学科 教授)
12時30分～13時30分	昼休憩
13時30分～14時00分	指定演題「子どもにおける運動の不器用さと内部モデルとの関係性」 信迫 悟志(畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター)
14時10分～15時30分	招待講演2「神経発達障害は身体障害である?～診察室から見てきた子どもの発達における身体性の重要性～」(講演70分, 質疑10分) 中井 昭夫 先生(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター 副センター長)
15時40分～16時40分	ポスターセッション
16時40分～16時50分	Closing remark・閉会挨拶(森岡 周)